

主催 ● 厚生労働省 「早期・探索的臨床試験拠点整備事業」 ● 日本医療研究開発機構委託研究開発費「早期探索的・国際水準臨床研究事業」 ● 文部科学省科学研究費「がん支援・化学療法基盤支援活動」班
後援 ● 抗悪性腫瘍薬開発フォーラム

変貌を遂げるがん治療 新薬開発の これからの展開

■ プログラム

司会：
大津 敦 国立がん研究センター
先端医療開発センター長
矢守 隆夫 医薬品医療機器総合機構 審査センター長

開会の言葉 大津 敦

第1部 早期探索拠点事業での成果と課題 (9:05-11:45)

- 1 AMEDのミッションと展望**
日本医療研究開発機構 理事 末松 誠
- 2 PMDA 薬事戦略相談の現状と課題**
医薬品医療機器総合機構
審査マネジメント部 中山 智紀
- 3 わが国におけるアカデミアシーズ開発の成功例**
-1 全身性脂肪萎縮症治療薬
自治医科大学医学部 内科学講座 海老原 健
-2 難治性皮膚潰瘍治療薬
大阪大学大学院 医学系研究科 玉井 克人
- 4 文部科学省
「がん支援・化学療法基盤支援活動」班の
成果と課題**
がん研究会がん化学療法センター 清宮 啓之
- 5 早期・探索的臨床試験拠点整備事業
5年間の成果と課題**
国立がん研究センター
先端医療開発センター 大津 敦
- 6 臨床試験法制化をめぐる動向**
厚生労働省医政局 研究開発振興課 河野 典厚

第2部 Precision medicine 体制普及の 現状と課題 (13:10-14:45)

- 1 SCRUM-Japanの現状と課題**
国立がん研究センター
先端医療開発センター 土原 一哉
- 2 NCI-MATCH試験の現状**
米国 National Cancer Institute CTEP 武部 直子
- 3 体外診断薬としての
NGS診断パネル承認に向けた取り組み**
Thermo Fisher Scientific Inc. Michael Nolan
- 4 NGS診断パネル承認に向けた
規制面での課題**
医薬品医療機器総合機構 体外診断薬審査室 宮本 大誠

第3部 がん免疫療法の進歩と コンソーシアム構築に向けた課題 (15:05-16:35)

- 1 がん免疫療法：現状と今後の展望**
慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 河上 裕
- 2 The next targets
of immune checkpoint blockade therapy**
Immunology and Dermatology,
University of Pittsburgh School of Medicine
Hassane M. Zarour
- 3 The current status
of immune checkpoint blockade therapy**
Bristol-Myers Squibb Shinta Cheng
- 4 がん免疫療法開発試験での
免疫TR研究実施上の課題**
国立がん研究センター
先端医療開発センター 西川 博嘉

閉会の言葉 矢守 隆夫

● タイトル・内容・時間は一部変更になる場合があります。
最新のプログラムは抗悪性腫瘍薬開発フォーラムホームページをご覧ください。

平成27(2015)年

日時：11月13日 金
9:00-16:40

会場：大手町サンケイプラザ 4F ホール
<http://www.s-plaza.com/access/>

参加申し込み：

抗悪性腫瘍薬開発フォーラム
ホームページにて 9月下旬より受付

<http://atdd-frm.umin.jp/>

● 定員になり次第、締め切りとさせていただきます